

受理第4-1号

請 願 書

件 名

コロナ禍における葬祭場建設に関する請願

紹介議員

池田 輝彦、服部 正、坂本 優子、中村 麻伊子

請願の趣旨

この程、家族葬のファミリーユが、宇治市伊勢田町大谷に葬祭場を建設する計画が明らかとなりました。葬祭場建設予定地は、閑静な住宅密集地に隣接した場所で、小規模な葬祭場であっても、葬祭場開設に伴う様々な課題が予想され、地域住民は極めて強い不安を抱えています。また、長期化する新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々のご遺体の保管や、管理等の取り扱いについて我が国では未だ法的規制も整備されていない状況にあり、葬祭場運営に係って二次感染等のリスクも懸念される等、地域住民にとっては一層不安材料が増大している状況にあります。

私ども地域住民は、我が国が抱えている超高齢社会の進展を見据えれば、葬祭場の必要性を否定しているものではありません。公的施設ともいえるものであるが故に、どこまでも地域住民との合意がなくてはならないことを求めているものです。

こうした思いから、下記項目を実施していただきたく、各町内会の会長自筆署名を添え請願を提出致します。

請願の項目

1. 葬祭場建設計画については、地域住民に十分に理解が得られる状況にはありません。また、コロナ禍も相まって合意形成を図るための地元説明会の開催の機会も十分に提供できる状況にない中で、計画を強引に進めないよう事業者に対し適切な指導を行うこと。
2. 新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々のご遺体の保管や管理等の取り扱いに関する法的整備が図れるまで、事業者に対し当該地域での葬祭場建設計画は保留させ、法施行後に改めて新基準に基づく計画を提示させること。
3. 新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方のご遺体の取り扱い等に関する法的規制がないことで、ご遺体を非透過性納体袋に収納しない事業者もあり、ご遺体を適切に取り扱う事業者の届け出制を求める声が、葬儀事業者をはじめ消費者団体、中小企業団体、地方自治体等から上がっています。宇治市としても国に対し法的整備を図るよう強く働きかけるとともに、議会としても国に対して意見書を提出されるよう要望する。

以上

令和 4年 2月14日

宇治市議会 議長

堀 明人 様

請願者 (代表) 新大谷町内会会長

住所

[Redacted]

氏名

林 政 臣 ●

電話番号

[Redacted]

請願者

大谷第一町内会会長

住所

[Redacted]

氏名

明 田 範 男 ●